

令和2年度 自主的取組実績

事業者	基準年度		目標年度			計画値			実績値		
	使用量(kg)	排出量及び飛散量(kg)	使用量(kg)	排出量及び飛散量(kg)	削減率(%)	使用量(kg)	排出量及び飛散量(kg)	削減率(%)	使用量(kg)	排出量及び飛散量(kg)	削減率(%)
日鉄鋼板(株) 東日本製造所	730,000	0	700,000	0	—	650,000	0	—	650,000	0	—
朋和産業(株) 習志野工場	1,200,000	1,100,000	1,500,000	260,000	76	1,600,000	75,000	93	2,600,000	130,000	88
(株)タキガワ・コーポレーション・ ジャパン	690,000	690,000	480,000	480,000	30	700,000	35,000	95	660,000	33,000	95
(株)日本金属印刷所 船橋工場	27,000	5,400	26,000	3,800	30	26,000	3,800	30	30,200	3,900	28
(株)クボタ 京葉工場	470,000	250,000	330,000	170,000	32	290,000	110,000	56	130,000	54,000	78
(株)クボタ 京葉工場流通加工センター	55,000	55,000	58,000	58,000	-5	20,000	19,000	65	24,000	23,000	58
ニホンハンダ(株) 船橋工場	14,000	11,000	9,800	7,700	30	9,800	7,700	30	13,920	10,900	1
(株)ヒダン 船橋工場	25,000	17,000	17,000	11,000	35	10,000	10,000	41	4,500	4,500	74
東都金属印刷(株)	23,400	6,500	18,300	4,550	30	18,300	4,550	30	19,300	6,130	6
住友大阪セメント(株) 新規技術研究所	18,100	4,010				24,000	1,500	63	27,000	2,700	33

事業所ごとの対策一覧(令和2年度実績)

事業所名	11	12	13	19	21	22	23	29	31	32	33	34	39	41	49	51	52	53	54	55	56	57	59	91	92	93	94	99	
日鉄鋼板(株) 東日本製造所					○	○					○											○							
朋和産業(株) 習志野工場		○			○	○																○							
(株)タキガワ・ コーポレーション・ジャパン		○																				○							
(株)日本金属印刷所 船橋工場	○				○	○																		○					
(株)クボタ 京葉工場	○	○	○		○	○						○										○			○				
(株)クボタ京葉工場 流通加工センター	○	○			○	○																		○					
ニホンハンダ(株) 船橋工場					○				○									○											
(株)ヒダン 船橋工場					○	○	○																	○					
東都金属印刷(株)					○	○							○									○							
住友大阪セメント(株) 新規技術研究所	○	○			○																								

揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための対策の概要

手法の区分	記号	対策の概要
①原材料対策による手法	11	溶剤の低揮発性有機化合物化又は非揮発性有機化合物化
	12	ハイソリッド塗料等溶剤含有率の低減
	13	粉体塗料等の揮発性有機化合物が不要な原材料の使用
	19	その他
②工程管理による手法	21	ふた閉め等溶剤管理の徹底
	22	効率の向上による塗料等の使用量の削減
	23	作業工程見直しによるふた開放時間等の短縮
	29	その他
③施設の改善による手法	31	施設の密閉化等の施設からの蒸発防止策
	32	冷却装置の増設による蒸発量の減少及び回収量の増加
	33	塗装の色替え時の洗浄ラインの短縮による溶剤使用量の削減
	34	製造設備の集約化
④屋外タンク貯蔵所の改造	41	固定屋根式タンクの浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクへの改造
	49	その他
⑤処理装置による手法	51	吸着法(排出ガス中の揮発性有機化合物を活性炭等の吸着剤に吸着させるもの)
	52	吸収法(排出ガス中の揮発性有機化合物を水、酸、アルカリ、揮発性有機化合物等に接触させて吸収させるもの)
	53	凝縮法(排出ガス中の揮発性有機化合物を冷却して凝縮液化させるもの)
	54	直接燃焼法(排出ガス中の揮発性有機化合物を直接燃焼させ、炭酸ガスと水蒸気に変えるもの)
	55	接触酸化法(排出ガス中の揮発性有機化合物を触媒を用いて燃焼させ、炭酸ガスと水蒸気に変えるもの)
	56	蓄熱燃焼法(高温の固定層に排出ガスを接触させて、揮発性有機化合物を燃焼させ、炭酸ガスと水蒸気に変えるもの)
	57	生物分解法(排出ガス中の揮発性有機化合物を微生物を利用して分解するもの)
⑨その他の手法	59	その他
	91	不良率の減少による溶剤使用量の削減
	92	余材の削減による塗布面積等の削減
	93	包装材の小面積化等による塗布面積等の削減
	94	製品の無塗装化
99	その他	